

知立市における公共施設の長寿命化について

教育庶務課教育庶務係

知立市の小学校、中学校の双方とも昭和40年代から昭和50年代に建築され、築後40年以上経過した建物が多く、全体的に校舎の老朽化や機械設備等の劣化が進行しております。

一般的に鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっていますが、これは税務上、減価償却費を算定するためのものであります。物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされれば、概ね70～80年程度、持たせるような長寿命化も可能であります。ここでは、教育庶務課で進めている長寿命化事業について少し紹介をさせていただきます。

なぜ改築（建て替え）ではなく「長寿命化」なのか。

近年、カーボンニュートラルを意識するようになり、昔のように、建てては壊すというスクラップアンドビルドが許される状況ではなくなりました。また、知立市に限らず全国の地方自治体は、恒常的に歳出が増額傾向にあり、少子高齢化の急速な進展の下、今後も厳しい財政が予想される中では、効果的・効率的に老朽化対策を行い、建物を長く使っていく必要があります。

建物の建築費は一般的に、構造が3割、設備が3割、内部仕上げが3割、その他諸経費が1割で構成されているようです。校舎本体を再利用する長寿命化改修では、校舎本体構造の建築工事がなくなるため、新築と比べて工事費を3割程度下げることができます。さらに、改築（建て替え）と比べると、解体処分費が削減され、4割程度のコストダウンにつながります。市としては老朽化対策だけでなく、よりよい学校の教育環境の改善した上で、建物を使っていただきたい思いがあり長寿命化事業を実施しています。（コストについては文部科学省HPを参考）

今年度の実施内容と令和6年度に向けて

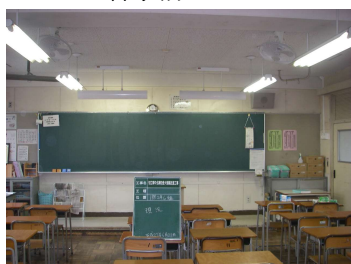
令和5年度は、猿渡小学校北校舎長寿命化の実施設計を行いました。また市内すべての小中学校の特別教室等に空調機を設置中であり、年度内には完成する予定です。今後は、学校体育館への空調設置も進めていく予定です。



外壁も新しくしました！（R3知立小学校）

令和6年度以降も長寿命化の工事を行い、子どもたちが快適に学べる学校づくりを目指します！

着手前



教室がピカピカになりました！（H27知立南中学校）

完了



特別教室や配膳室にも空調機を設置中！（R5全校）

